

No. 3102

2024-2025年度

会長 中村 吉伸
幹事 菅原 佳典
クラブ広報小委員長 川口健太郎



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和7年1月23日 第3103回

- 外部卓話：「災害に備えて」
御前一晃氏（有田市役所経営管理部危機管理監）
- ソング：「我等の生業」

前回の報告（第3102回例会）

開催日 令和7年1月16日(木)

点鐘 [中村会長]

ニコニコ箱の報告 [井上SAA]

中村君：先週の新年例会には多くの会員・御家族の皆様の御参加を賜り、誠にありがとうございました。本日よりリレー卓話が始まります。木本エレクト、嶋田さんよろしくお願ひ致します。

菅原君：嶋田さん、木本さん会員卓話楽しみにしています。宜しくお願い致します。

岩橋君：木本さん、嶋田さん会員卓話楽しみです。

上野山(捷)君：木本隆昭様、嶋田恵様、本日の会員卓話よろしくお願ひ致します。

應地君：お二人の卓話を楽しみにしています。

橋爪(正)君：木本隆昭君、嶋田恵さん、本日早退いたしますので卓話聞けず残念です。頑張ってください。

宮井君：本日の会員卓話、木本君、嶋田君宜しくお願い致します。楽しみにしています。

松村君：連休に風邪をひきました。

中元君：木本さん、嶋田さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

橋爪(誠)君：会員リレー卓話スタートですね。楽しみです。木本さん、嶋田さんはりきってどうぞ！

川口君：本日の会員卓話リレー、木本さん、嶋田さん宜しくお願いいたします。新年例会欠席となり改めて、皆さま今年も宜しくお願い致します。

木本君：本日、会員リレー卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

児嶋君：本日の会員リレー卓話、木本隆昭君、嶋田恵君、よろしくお願ひ致します。

嶋田君：木本さん、会員リレー卓話よろしくお願ひ致します。

2024-2025年度クラブ方針

「みんなの力を結集し、
未来に繋がる活動を」



次回のお知らせ

令和7年1月30日 第3104回

- 外部卓話：「子供達のサッカー」
紺野利男氏（有田サッカー協会 会長）
- ソング：「四つのテスト」

私も頑張ります。

手島君：リレー卓話宜しくお願いします。ロータリーの理解を深める参考にしたいと思います。

福田君：木本さん、嶋田さん本日の卓話楽しみにしています。勉強させていただきます。

井上君：親睦委員さん、新年例会の準備ご苦労様でした。

嶋田さん、木本さん本日の卓話よろしくお願ひ致します。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 川口副委員長]

本日の出席者20名/25名

(うち出席規定免除者7名/8名)

会長の時間

[中村会長]

本日から下半期通常例会の開始ですが、今月から月1回、会員の方々にリレー卓話をお願いしております。何かしゃべってというのではなく、新入会員も2名おられますので、それぞれの方の現在の職業あるいは引退されておられる方は元の職業について、現状と将来の展望、ロータリーの職業奉仕につて思うことなどをお話していただければと思います。



さて1月は職業奉仕月間ですので、今日は社会問題でもありますパワハラについてお話ししたいと思います。令和2年6月にパワハラ防止対策の法制化がなされまして、雇用管理上の措置が義務付けられています。ここでパワハラの3要素とされるのは

- ・優越的な関係を背景とした言動である
- ・業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの
- ・そのために労働者の就業環境が害されるものであります。

パワハラ防止のために事業主が講ずべき措置としては

- ・事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発
- ・相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備
- ・パワハラに係る事後の迅速かつ適切な対応が必要とされています。

パワハラの原点は「江戸時代の斬捨御免」とされており、命を奪う究極のパワハラと言われます。200年が経過し、刀から言葉による斬捨御免が横行していることを考えるとパワハラ防止対策の法制化は極めて重要であると思われれます。ただパワハラはちょっとした気配りで防げる事案が多いとされますので、事業者のみならず個人が注意することで快適な職場にしていだければと思います。四つのテストに日本人が得意な「気配り」を加えれば最高の職業倫理になるのではないのでしょうか。

幹事報告 [菅原幹事]

1.2640地区

2024-2025年度 代表幹事 豊田泰史氏より 報告がありました

1. 使途不明金問題について
2. 能登半島豪雨支援金について

2.有田2000RC

合同例会企画(案)が届く
講師謝礼と会場設営費等を併せ
各クラブより42,000円を負担(1月理事会にて承認)
※登録料7,000円/人(飲食費に充当)

3.後期会費徴収について

本日後期会費請求書の配布並びに発送を行います
現金の方は次回1月23日の例会にて集金させていただきます
お振込みの方は来週末を目途にお振込みお願い致します

【回覧物】

- ・3クラブ合同例会企画書
- ・ハイライトよねやま298号

【後方掲示物】

- ・2640報告事項
- ・議事録



ロータリー友誌の紹介

[クラブ広報小委員会 川口委員長]

【横組】

P5

RI会長メッセージ「喜びをもたらそう」例会に喜びを求めているなら自身や仲間に対し少し難しい質問を投げかけて見ましょう。「もし自分が入会候補者だったら、今の自分のクラブに入りたいと思いますか？」と核心を突く質問です。会員維持とクラブ文化は表裏一体とあり、これらが健全であれば会員がクラブに留まる可能性は高くなるとあります。私たちは今一度考えなければならぬと感じました。



P7~10

特集職業奉仕月間「いま、あらためて四つのテスト」のテーマにて、ここでは四つのテストその由来をひもといっています。その結びに今こそ必要なのは倫理的誠実さ

として四つのテストが混沌とした時代に人々の価値ある目標としての指針が改めて求められているのではないのでしょうか。

P12~13

解説「四つのテスト」は一つのテストでは、自分自身を振り返る鏡として、ぜひとも今の当地区関係者にお読み頂きたい内容であります。

P14

世界ポリオデーでの取り組みとして、当地区の岸和田3クラブによる事業が掲載されています。

P16~21

私のロータリーのマジックでは、会員の相手への想い気持ちと行動がマジックのような出来事を生み出すいくつもの事例が掲載されています。

P22~23

よねやまだよりでは、いつ拝読しても年齢・性別・国の違う米山奨学生と向き合うことは自身と向き合う学びの場と感じます。

P27

ロータリーネットワークでは当地区の堺清陵RCの取り組みが掲載されています。

【縦組】

P4~8

スピーチ 伝統技法と職業奉仕の心のテーマで、(株)いかるがこうしゃ 総棟梁 小川三夫氏の講演内容が掲載されています。小川氏は今では考えられない、当時では当たり前前かもしれないが自身で掴み取る宮大工としての厳しい下積みを行い道具に精魂を込め、木材は自然の摂理に沿って使う、それは一心不乱に向き合う姿勢が最高の建物を創り出す。現在の私たちにはどうであるか？丁寧にやさしく教える事が実はその人の為になっていないのではないのかと考えさせられます。そして合理主義が跋扈する時代に弟子に「無駄をさせて、無駄に気付かせ、無駄をなくす」その考えは職人として、人としても感覚を研ぐことかもしれません。

P9~12

この人を訪ねては小樽南RCの工藤佐千夫さん、この方もこれと思う事にのめり込むタイプだと感じ、それが小樽の地域に根付く職業奉仕と思いました。なんでも一生懸命に取り組むことが共感の輪を広げる大切な事だと思いました。

P15~23

につぼんふどう北陸能登特別編では震災地域取材しこの地域ならではの助け合いの精神と自然の恵みの良さが分かります。しかしどの地方でも共通の人口問題で能登はこの震災でより加速したからこそ、震災前を思うのではなくその先を目指すことが大切だと訴えています。

委員会報告

※奉仕プロジェクト委員会[橋爪(誠)委員長]

次週1/23に委員会開催いたします。「未来へのキックオフ」の大会概要は1/30の例会にて会員皆様に詳細をお伝えいたします。

卓 話



木本 隆昭 君

「私の職業と現状、将来への展望」

【沿革】

- ・昭和61年3月に創業(木本産業内にて事業部を分社化した。)
- ・平成27年7月に重機・機材ヤードを現在の有田市初島町里1266番地9に移転。この時点でこの地域は第一種中高層住居専用地域であった為、会社等の本社や営業所を置くことができなかつた為、本社は従来の有田市野187-1のままにしていた。
- ・令和6年4月27日、初島町里のエネオス関係の土地が準工業地域に用途変更した為、弊社も同年5月に本店を現住所に変更した。

【会社写真】



【主な営業内容 クレーン工事】



【主な営業内容 鳶工事】

- ・鳶工事の種類
- ・重量物据工事 機器や装置の設置や取り外しをする作業。
- ・足場工事 足場の設置や解体をする作業。
- ・鉄骨工事 建築の鉄骨組立をする作業。
- ・橋梁工事 橋梁(橋)の鉄骨の組立をする作業。
- ・超高所工事 東京タワーやスカイツリーなどの組立をする作業

弊社は主にプラント用足場工事(たまに重量物据付)

【主な現場】

- エネオス和歌山製造所
- ・エネオス堺製油所
- ・花王和歌山工場
- ・その他周辺工場 等

【仕事での注意点】

- ・重機作業及び高所作業は、事故を起こすと重大災害につながり やすいので安全最優先で作業している。
- ・有田RCに入会してからは、安全第一はもとより4つのテストも重視して仕事に取り組んでいます。

【現状について】

木本産業から離れトーコー機工の代表になり約10年が経ちました。

初島に移転した際の費用は全額借金で、今まで会社を潰さないよう必死のパッチで頑張ってきました。なんとか経営も見通しがついてきたときに、主な現場であるエネオスと和歌山製油所(当時)の運転停止の発表がありました。約1年間厳しい経営が続きましたが、現在は工場の無害化工事や新プラント建設の予定などの話に希望をよせ頑張っています。

【将来の展望】

需要(国内製造業に関する工場)も減少傾向にあると思いますが、供給(建設作業員)もかなりの減少傾向にあります。

これからの日本の産業全てにいえる事ですが、人材確保が大きな課題です。

今までの常識や価値観がめまぐるしく変わる大変な時代ですが、不動の真理である「4つのテスト」照らし合わせて業務に取り組んでいこうと思っています。



「長野県北アルプスの燕岳にて撮影」



嶋田 恵 君

私がアクサ生命に入社して、この1月で丸22年になります。保険のことなど、全く知らずにこの世界に飛び込んだ

のだと、入社して痛感しました。保険商品を売る仕事だと思っていた私には驚くことばかりでした。

保険は勿論、金融サービス事業におけるアドバイザー育成研修、FP資格を取る為の勉強、など私が考えていた保険の仕事とはまるでかけ離れたことばかりでした。勿論仕事しながらの勉強は、大変でした。

それは、お客様が商工会議所の会員事業所を中心とした法人、個人事業所だったからかもしれません。仕事は証券診断やリスク分析、自社株評価のお勧めなど。リスクに対応できるのか？リスク分析をする為に借入金の額を教えてください。と言って、社長さんに叱られたこともあります。また、自社株評価をお勧めして、殺すつもりか！と年配の社長さんに叱られたこともあります。御社の為には必要なことですよ！と思う気持ちがあるから、今までやってこれたのだと思います。この仕事をしていなければお知り合いになれなかった社長様や奥様、今も懇意にいただき、息子さん、お嬢さん、お孫さん迄お世話になっています。

このごろでは、幾つまで仕事するのかとよく聞かれるようになりました。75歳迄はやります。とお答えしています。しっかり後継者も育てていかなければと思っています。また、役員退職金の適性額や税金の計算、従業員さんの退職金や福利厚生、あとはいかに経費を作り、内部留保を作るか、単純返礼率より実質返礼率を重視するそんな時代でした。

しかし、2019年6月金融庁による税制改正で考え方が根底からひっくり返されました。時代は変わったんです。実質返礼率から単純返礼率の時代に。でも、今まで積み上げられた損金の取り崩し方、それもまた私の仕事です。

保険は入口だけではありません。出口を考えて、何時、どういときに、どんな方法で？私達は金融のプロとして対応しなければなりません。だから何時もお客様とは密な関係を保たなければなりません。寄り添わなければなりません。その為には、入社当時だけで無く、今も日々勉強することが大切です。資格もとっていかなければなりません。健康経営アドバイザーもそのひとつです。

みなさんは保険…というどのようなイメージを持ってらっしゃいますか？万が一の時に保険金を受取、金銭リスクを無くす手段ですよ。将来のリスクに備えるための保険。

でもここ最近は何？生命保険の考え方が変わってきています。医療の進歩や、人生100年時代と言われてるような長寿社会。みんな元気で長生きです。

万が一のリスクに備えるための保険の有効性を感じる人が減少し、いまはもっぱら資産形成の時代です。いかにして賢くお金を貯めるのか、保険もその手段として有効性があるのかが見極められる時代です。リスクが起きた時の保険ではなく、リスクが起きなくてもお金を貯め、その間に何かリスクが生じても保険の機能で守ってくれる一石二鳥という性質の唯一無二が保険の良さ メリットとして捉えられはじめています。

保険の唯一無二、一石二鳥とは？それは長期投資が出来るように守ってくれる機能があることです。

いまお金を増やすといえば？投資ですよ。それも一括投資ではなく、長期分散積立投資です。そう、長期なので。

投資といえば流行りは新NISA。昨年だけでも200万人が始めています、5人に1人がNISAをしています。

メリットは？そう、非課税です。これはすごく良いですよ！でもこれって、しっかり長期投資で利益が出たら…その利益は非課税。当然、長期投資を続けられなくて利益が出なければ無意味なメリットです。

つまり、言い換えればNISAを始めた時の健康状態・経済状況が悪化することなく長期投資(10年以降)が出来たらメリットがあるということです。

いまの日本は長寿の国。死亡リスクよりも、長生きリスク(生活習慣病や介護)に備える時代。長期投資が思わぬ要因で続けられなくなる事態はたくさん想定されます。

そこで私が申し上げた保険の唯一無二の機能として、P免、介護保険金給付等があります。P免なんて保険会社が将来に渡って皆さんのお金を代わりに皆さんのために支払い続けてお金を増やしてくれるなんて最高だと思いませんか！？

話を戻しますが…

今年の2025年問題、(超高齢化社会を迎えるにあたり、社会保障費の急増などが見込まれる社会問題)、また保険にとっても新たな風が吹く1年だと思っています。

介護への対策として、特に資産凍結への対抗手段、家族間の資金移動のニーズに応えられる保険としての役割を広く伝えていきたいと思っています。

※P免…保険料払込免除特約

閉会・点鐘

[中村会長]

例会風景

